

BUSINESS REPORT



RYOSAN

Electronics System Coordinator

株式会社リョーサン

2018年3月期 期末

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日

経営成績並びに事業活動についてのご報告



代表取締役 会長執行役員 三松 直人

代表取締役 社長執行役員 栗原 宏幸

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当連結会計年度における経営成績並びに事業活動について、ご報告申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、金融市場で変動が見られたものの、堅調な投資や消費に支えられ緩やかな成長を維持しました。米国では内需の拡大を中心とした自律的な成長が維持され、欧州においては堅調な景気拡大が続き、中国を始めとする新興国も底堅く推移しました。日本においても、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費の持ち直しの動きが継続し、企業収益も改善するなど、緩やかな成長が続きました。

エレクトロニクス業界においては、車載、FA 機器や情報通信分野を中心に堅調に推移しました。

このような情勢下、当社グループは、2017 年度を第 9 次中期経営計画（2014～2017 年度）の最終年度と位置付け、その基本姿勢に「変革」と「成長」を掲げ、事業構造の変化に対応した「ビジネスモデルの転換」と持続可能な「自律的成長」を追求してまいりました。そして、この基本姿勢を具現化するために、「成長路線の再構築」と「資本効率の向上」に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高は 2,540 億 77 百万円（前期比 16.5%増）、営業利益は 56 億 65 百万円（前期比 21.6%増）、経常利益は 63 億 96 百万円（前期比 32.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は 44 億 81 百万円（前期比 33.1%増）となりました。

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要政策の一つと認識すると共に、1 株当たり当期純利益の向上に努めております。配当につきましては、安定的に高配当を維持するべく連結配当性向 50%以上を基本方針としております。また、自己株式取得は、継続して実施する方針であります。

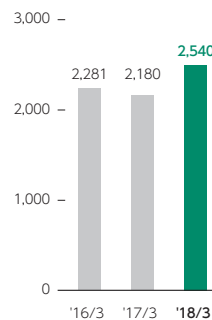
当連結会計年度の期末配当につきましては、平成 30 年 5 月 11 日開催の取締役会におきまして、普通配当金 50 円に特別配当金 25 円を加え、1 株当たり 75 円とすることを決議させていただきました。その結果、中間配当金を含めました年間配当金は 1 株当たり 150 円となります。

次期の配当につきましては、1 株当たり年間普通配当金 100 円（中間配当金 50 円、期末配当金 50 円）に特別配当金 50 円以上を加え、1 株当たり 150 円以上とさせていただく予定であります。

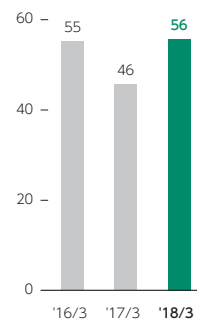
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績の推移

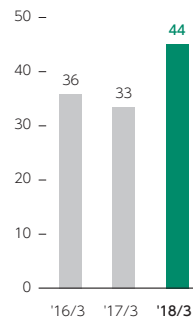
売上高 (億円)



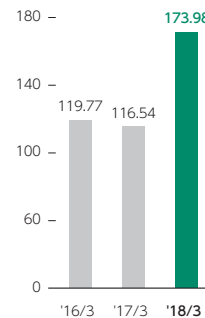
営業利益 (億円)



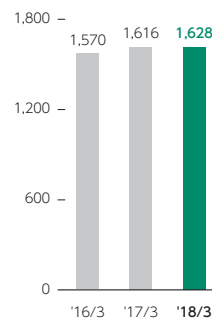
当期純利益 (億円)



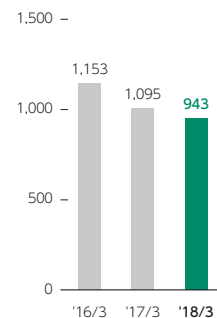
1 株当たり当期純利益 (円)



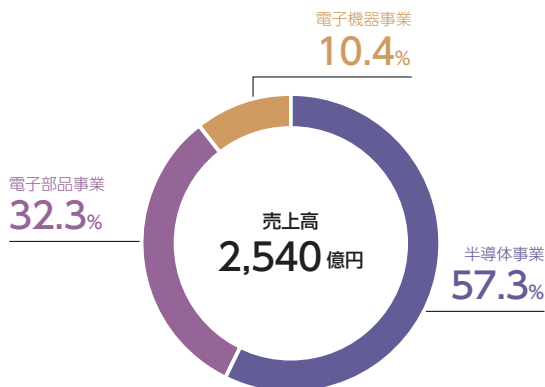
総資産 (億円)



純資産 (億円)



事業別報告

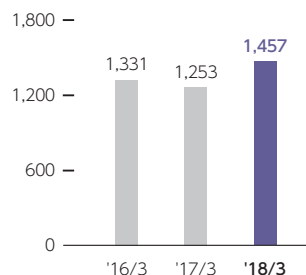


半導体事業

システム LSI、個別半導体、メモリの販売
並びにシステム LSI の受託開発

車載、FA 機器や情報通信向けビジネスが好調に推移し、売上高は 1,457 億 8 百万円（前期比 16.3% 増）、在庫廃棄損や在庫評価損を計上したものの、営業利益は 26 億 25 百万円（前期比 5.5% 増）となりました。

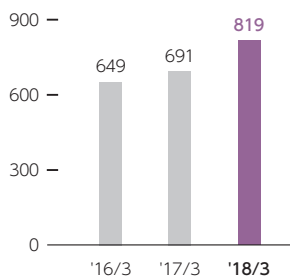
事業別売上高 (億円)



電子部品事業

機構部品、表示デバイス、電源の販売

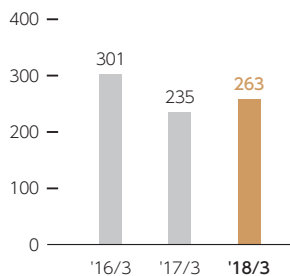
車載や FA 機器向けビジネスが好調に推移したことに加え、コンシューマ向けビジネスが拡大し、売上高は 819 億 84 百万円（前期比 18.5% 増）、営業利益は 28 億 12 百万円（前期比 44.5% 増）となりました。



電子機器事業

システム機器、設備機器の販売

大口の車載向けビジネスの採り込みにより、売上高は 263 億 84 百万円（前期比 12.2% 増）、営業利益は製品ミックスの変化等に伴い、6 億 6 百万円（前期比 12.6% 減）となりました。



シンボルマークが新しくなりました

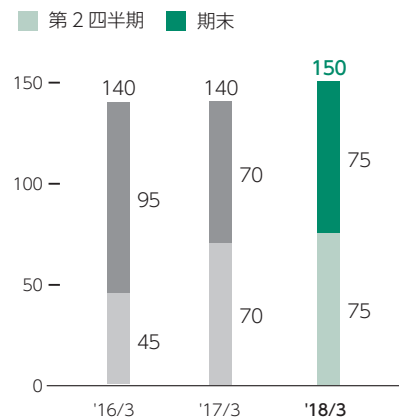


RYOSAN

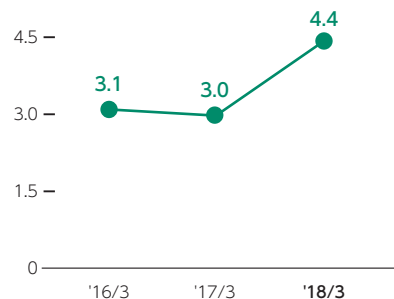
コンセプト

「ダイナミックに使命に向かう姿勢」と
「チャレンジすべき未知なる領域」を
R をモチーフに表現

配当の状況 (円)



ROE の推移 (%)



▶ 会社概要 (2018年3月31日現在)

商号 株式会社リョーサン
 英訳名 Ryosan Company, Limited
 本店所在地 東京都千代田区東神田二丁目3番5号
 資本金 17,690,508,514円
 従業員数 635名(連結:946名)

役員

(取締役/監査等委員)

代表取締役	三松 直人	取締役(常勤監査等委員)	坂元 岩男
代表取締役	栗原 宏幸	取締役(常勤監査等委員)	南部 真也
取締役	佐藤 和典	社外取締役(監査等委員)	佐藤 文昭
取締役	西浦 政秀	社外取締役(監査等委員)	桑畑 英紀
		社外取締役(監査等委員)	西本 甲介
		社外取締役(監査等委員)	小川 真人

(執行役員)

会長執行役員	三松 直人	執行役員	水澤 聡
社長執行役員	栗原 宏幸	執行役員	石村 賢治
上席執行役員	佐藤 和典	執行役員	岩館 隆二
上席執行役員	西浦 政秀	執行役員	稲葉 和彦
上席執行役員	本間 宏二	執行役員	齊藤 和広
上席執行役員	澁谷 裕	執行役員	遠藤 俊哉
上席執行役員	吉泉 康雄	執行役員	木寅 博文
執行役員	小林 博	執行役員	中東 辰美
執行役員	猪狩 裕之	執行役員	桐畑 保彦

▶ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年 3月31日 期末配当金 毎年 3月31日 中間配当金 毎年 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
公告の方法	電子広告とします。 (http://www.ryosan.co.jp/jpn/koukoku/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子広告による告知ができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵送物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031 (フリーダイヤル)
証券コード	8140
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にお問い合わせください。

▶ 株式の状況 (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数 155,673,598株
 発行済株式の総数 28,500,000株
 株主数 3,941名

■ 大株主の状況 (上位10名)

株主名	当社への持株状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	2,075	8.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,430	5.84
株式会社三井住友銀行	1,232	5.03
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	1,176	4.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,128	4.61
株式会社三菱東京UFJ銀行	949	3.88
住友生命保険相互会社	861	3.52
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	820	3.35
日本生命保険相互会社	736	3.01
日本電気株式会社	604	2.47

(持株数=千株未満切捨て)

1. 当社は自己株式4,014千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
3. 株式会社三菱東京UFJ銀行は平成30年4月1日付をもって株式会社三菱UFJ銀行に商号を変更しております。

■ 株式の分布状況

